

広報

# リクベツ

RIKUBETSU

- 平成17年度 町政執行方針・教育行政執行方針
- 教育振興賞表彰式

4

2005  
NO.29



**3月27日ふるさと銀河線関係者協議会場で  
鉄道存続困難  
会社取締役会で鉄道廃止決定!!**

# 平成17年度 町政執行方針

平成17年度陸別町議会3月定例会の開会にあたり、私は、平成17年度を本格的な財政改革元年と位置づけ、新時代へ対応するためのまちづくりへ不退転の決意で邁進する所存であることを申し上げ、平成17年度町政執行の所信を表明いたします。

## 町

議会の皆さん、町民の皆さんに町政全般へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

ここで、陸別町が自立の道を選択してから現在までの経過を簡単に述べます。

実務としては、昨年の8月にスタートした事務事業の見直しをベースとして、「陸別町自立推進プラン」の素案を策定し、議会の夢と希望のまちづくり検討特別委員会、町民代表による陸別町の自立を考える町民会議で説明ののち、計4回の町民説明会を行いました。

その後各会議において意見をいただきながら、行政改革推進委員会への諮問、答申を経て、この2月末までに最終案としての原案を取りまとめ、3月2日、4日の説明会で町民の皆さんにお話ししてきたところです。

このプランにおける基本方針としては、歳入確保を最大限努力し、さらに歳出の徹底した削減により、陸別町の財政健全化に取り組んでいこうとするものです。

具体的には、生活関連の社会基盤の整備は、ほぼ充足された現状にあります。したがって必要最小限の事業投資にとどめることで、町債の借り入れを極力抑えていきます。

改革の出発点として、役場庁舎内から率先して改革に取り組むため、経費の節減と大幅な人件費の削減を図り、行政のスリム化を進めます。さらに町民と協働による各種公共料金、補助金等の受益者負担のあり方の検討を行い、新たな負担と行政サービスへの参加をお願いすることとしました。

国の三位一体改革が具体的かつ本格的に新年度より実施されるようとしています。地方にとつて、とりわけ当町のような小規模自治体の歳入が、今後どのようにに保障されていくのか判断としません。

当町の普通地方交付税は、平成12年度をピークに減少し続けて、そのピーク時と平成16年度の差は実に8億6千万円余りの削減となっており、特別地方交付税を合わせますと、10億円も

の削減ということになります。この状況下でも平成15年度までは、ほぼ収支のバランスが図られてきました。しかし、平成16年度の交付税と臨時財政対策債の減額については、町の財政改革がついて行けない状況となつていきます。平成16年度の決算見込みとしては、診療所・保健センター建設事業を除いたべアスで、約3億円の基金繰り入れとなつてまいります。

現在までに得られている情報では、国の交付税総額が、平成16年度水準を維持したとなつておりますが、合併市町村への配分増や人口規模が小さく、あるいは現在に至るまでに財政構成の中で投資比率が高いなどの要因から、前年度より削減となることを見込まなければなりません。

平成17年度予算では、当町の歳入で最大のウエイトを占める普通地方交付税につきましては、平成16年度確定額より7・7パーセント、1億4,900万円余りを減額して、17億8,800万円余りを計上いたしました。

次に臨時財政対策債については、国の地方財政計画（23・1パーセント減）に合わせる形で、前年度確定見込額の2億3,130万円から5,630万円減額（24・3パーセント）し、1億7,500万円を計上いたしました。したがって、2億円の減債基

金をはじめ合計で3億700万円余りの基金を取り崩して収支のバランスを保つたところであります。各種公共料金を値上げしても、今後このように基金を取り崩しながらの財政運営をせざるを得ない状況であります。

大変厳しい環境ではあります。冒頭に申し上げました行財政改革を住民の皆さんの参加のもとに着実に進めることで、必ずこの難局を乗り切れると確信しております。

町民の皆さんと協働のまちづくりを行うにあたっては、夢や希望を絶やさずに創意と工夫によつて新しい事業へ積極的に取り組む姿勢も大切にしていきたいと思います。そしてこれから陸別町が、「小さいながらもキラリと輝くまち」、町民の皆さんが「任んでいて良かったと思えるまち」として歩み続けるよう粉骨砕身努力していく所存であります。

以上が、新年度において、私が特に重点的に取り組んで参りたい基本的な考え方の説明でございます。

次に、新年度予算案に盛り込まました事業のうち、主なもの、あるいは特徴的なものについて、その方針を説明申し上げます。

## 総

務費関係の事業について説明いたします。

昨年9月8日の台風18号によつて町有林が多大な被害を受け



ました。基本的に、この台風被害を整理し造林する事業であります。平成17年度につきましても、地拵えまでの事業を考えております。被害面積全体のうち27・35ヘクタールが森林災害復旧造林事業の激甚災害に指定され、2・13ヘクタールが森林環境保全事業の指定災害に指定され、補助事業として行うこととなります。さらには、町の単独事業で12・72ヘクタールについて、町有林の保全のために被害木の処理を行う予算を計上いたしました。

町有林管理事業につきまして、昨年度より検討してきました主伐につきましては、今回の被害地造林事業も含めた全体の事業量も見極めたうえで、次年度以降木材市況の推移を注視しつつ、検討をして参りたいと考えております。



# ふ

るさと銀河線についてあります。

同線の存廃問題については、1市6町が合意の基で沿線住民の足を守ることを前提とした協議が続けられていましたが、回を重ねる内に沿線自治体の中で考えに相違が出てきたことも否定できません。しかし、当町としてはふるさと銀河線を残すことが、町民にとって最善の策であると考えています。2月20日に開催された「ふるさと銀河線・存続大集会2005」には、実行委員会の予想を大きく上回る1,400人もの参加があり、存続を切望する思いが内外に強くアピールされたところです。

私は、2月26日の関係者協議会において民間経営による再建の提案をすることで、存廃の是非について、さらなる協議の必要性を訴えております。この後、3月21日に関係者協議会が開催される予定となっております。

拙速に結論を出した結果が、将来大きな悔恨となつては取り返しがつきません。今後ともふるさと銀河線を守る取り組みを行つて参ります。

引き続きふるさと銀河線利用拡大に向けた必要経費を計上いたしました。

# 民

民間活用住宅建設事業については、事業初年度である平成16年度の実績は、1件2戸で600万円の助成でした。民間住宅の建設は、町内経済の活性化を促すとともに公営住宅への入居が緩和されるなど、民間活力によるこの事業に大きく期待するところであります。また、新年度においても引き続き所要の予算を計上いたしました。

# 太

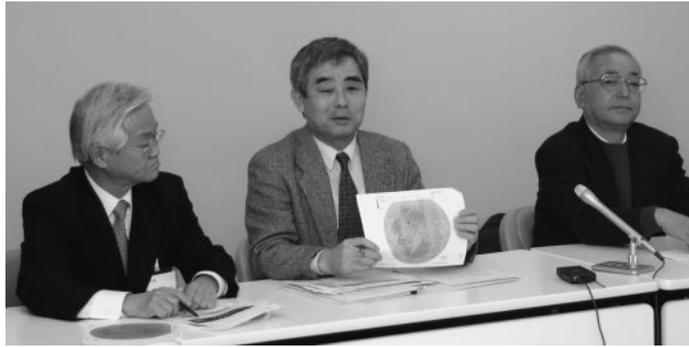
太陽光発電設置事業については、先月には地球温暖化防止のための京都議定書が発効されました。環境対策については長期的視野に立ちながらも地道な対策が重要であります。昨年度の実績は3戸90万円の助成でしたが、今後も積極的な設置をお願いしたく、必要な経費を計上いたしました。

# 企

業誘致対策についてであります。

平成17年度から名古屋大学太陽地球環境研究所が文部科学省の予算で、磁気嵐(宇宙天気予報)の観測短波レーダーを陸別町に建設することとなりました。

さらに、宇宙天気の内閣総合観測基地を目指すプロジェクトとして、情報通信研究機構と名



古屋大学太陽地球環境研究所と北海道電力株式会社そして陸別町を加えた4者の共同研究として、観測拠点への拡大強化を図るため平成17年度中に総務省へ予算の要求を行う計画です。これら、関連予算として打合せのための旅費を計上いたしました。

# 3

年前より商工会の企業と雇用創出委員会において、民間住宅の建設施策やコントラクター等の発想が生まれ、民間と町の共同作業で実現してきま

した。この活動費として30万円を計上いたしました。今後の課題として炭に関するプロジェクト、バイオマス関係プロジェクト等の推進を図っておりますが、その方向が定まり具体化される際には、町としてサポートしてまいります。関係者の皆様へは異業種間の連携、情報交換をより密にして新しいことへ積極的に取り組む姿勢を大切にしていた、きたいと考えております。

# 民

生費関係について説明いたします。

高齢者等交通費助成事業は、昨年度より始めた事業であります。高齢者や身体障害者の方々にとっては、外出の際の移動手段をハイヤーとする機会が比較的多く、当初計画の見込みを上回る利用実績となっております。これからもやさしい町、住みやすい町としてこの事業を継続していききたいと考えております。

引き続き所要の経費を計上いたしました。新年度から福祉施設の管理事業を整理し、介護予防拠点施設管理事業では「ふれあいの郷」を、高齢者福祉施設管理事業で「福寿荘」の施設維持に必要な経費を計上いたしました。

# 衛

生費関係について説明いたします。

新年度10月1日からゴミの有料化をお願いいたします。内容としては、ゴミの排出量に応じた料金を負担していただくものです。現在はゴミ袋の実費負担をいただいているところですが、今後につきましては、ゴミの処理経費の一部を袋代に加算して、負担をお願いするものであります。

今回の有料化による大きな目的のひとつに、ゴミ減量化の推進があります。今一度環境問題を考え、町民の皆さん全体でゴミの減量化に取り組もうというものであります。

なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。



# 労

働費関係であります。雇用対策事業につきましては、ふれあいの森遊歩道の草刈り、駅周辺部の植樹地下草刈り、ポントマム川支障木除去であります。急激な雇用情勢の悪化を少しでも緩和するため、町の単独事業で行います。

# 農

業関係について申し上げます。

平成16年度に搾乳農家が70戸を割り、現在68戸となっております。しかし、昨年の10月1日より1名の新規就農が実現しました。町外の方では、初めてであります。さらには、新たな営農実習者が研修をスタートさせています。ただ、町全体の生乳生産量が減少しており、新農業人育成事業につきましては、今後農業行政の最重要課題として取り組んで参ります。

また、堆肥処理の適正化法が平成16年11月からスタートしました。この間、町と農協は堆肥舎の整備を最大の課題として計画的に実施してきました。

平成16年度までの施設の未整備部分については、資源リサイクル畜産環境整備事業で平成17年度に2件整備し、畜環リソース事業で残りの整備を進めることで、平成18年度中に完了することを目指しております。

なお、資源リサイクル事業の堆肥舎に係る北海道のパワーアップ事業は、平成16年度をもって終了しましたが、町として平



成17年度も継続して負担することとしております。

平成16年度から始まりましたコントラクター事業は、農業関係者と異業種であります建設業の参加のもとに、農業における労働力不足への対応、さらには雇用対策の目的をもつて、会社が設立され順調に初年度をスタートしました。

# 林

業関係であります。

民有林造林促進事業、21世紀北の森づくり推進事業、林業長期就労促進担い手対策事業、退職金共済制度加入促進事業について、引き続き所要の経費を計上いたしました。

次に林道関係であります。林道銀河の森線改良事業は当初平成18年度完成予定のところを、公共事業量の激変緩和及び町内の雇用対策として政策的に前倒しをして予算計上をいたしました。

# 商

工費関係につきまして、説明申し上げます。

依然として商工業を取り巻く環境は厳しいわけですが、当町では若い世代への引き継ぎの時期にあるとの認識もあります。伝統の良いところに、新しい発想も組み合わせることでこの難局から脱却していただきたいと思っております。

中小企業融資制度をそのまま継続し、保証料補給事業、経営安定資金利子補給事業の予算につきましては、前年度と同額で計上させていただきます。

# イ

ベント関係について申し上げます。

昨年9月に日本において初めて開催されたWRC（世界ラリー選手権大会）が十勝を舞台に行われ、しかも全日程3日間のうち2日間が陸別町の会場となりました。

このことで、全国からかつてないほど大勢の人たち（48,200人）が当町へ訪れたとともに、陸別の名を世界中に発信することができました。

関連予算はわずかの計上ですが、今後この大会が定着して



いくよう念願しております。2月5日、6日に開催された第24回しばれフェスティバルは、近年では最高の来場者数となったと思います。

特にこのイベントに関して、町内のこれから町づくりの主役となる若い人たちが中心となって準備、運営を行っており、その輪も近年大きくなっており、今回は、すべてが手作りのイベントとして大成功を収めました。このことは、多くの人に感動を与えたとともに力の一つのことに結集するという点において、これからのまちづくりへ繋がっていくことと思えます。今般の財政状況から若干削減はしましたが、ぜひ今後も関係者の創意工夫で続けていただくよう予算の計上をいたしました。

**土** 木関係費について、申し上げます。

まず、雪寒機械購入事業であります。

これは、昭和63年10月に購入した除雪トラックの更新であります。耐用年数が11年のところ17年間の使用をもって更新とするものです。

町道の維持補修、道路改良につきましては、先の自立推進プランの方針に沿って、継続事業を軸として緊急度を十分勘案し、特に道路側溝整備、法面補修等の単独事業を積極的に予算計上いたしました。

なお、主な事業実施予定箇所は次のとおりであります。

○若葉1号線道路改良

—幅員5・5m(片2・5m)／延長50m

○東トマム8号線舗装

—幅員5・5m／延長213m

○新町4号通り交通安全施設整備

—歩道拡幅(片2・5m)／延長160m

○東1条仲通交通安全施設整備

—歩道拡幅(両3・5m)／延長210m

次に、公営住宅関係でございますが、第1若葉団地1棟8戸について平成16年度から2カ年の継続事業で行っており、平成17年度中に完成します。

以降の建設につきましては、立て替え事業も含めまして需要

の動向を慎重に見極めながら進めていきます。

また、一連の公営住宅の下水道管路改修につきまして、新町団地の公営住宅5棟10戸を実施いたします。

**教**

育関係につきましては、昨年札幌市在住の河島様よりいただきましたご寄付を基

に小中学校の整備をいたしました。小学校では校庭遊具の老朽化が著しく、木製遊具の設置費を計上いたしました。中学校では、デジタルビデオカメラをはじめとしまして、各種教材備品を充実させるべく予算を計上いたしました。

平成14年度から継続している史跡ユクエビラチャシ跡整備事業や町民水泳プールの床マット改修などに関し、教育委員会の意向に基づき、所要の予算を計上いたしました。

**特**

別会計関係、国民健康保険事業勘定について、申し上げます。

国民健康保険事業勘定につきましては、平成15年度における一般被保険者の医療費が、全道で11番目となりました。年々医療費の増加傾向にあります。従前より一般会計からの繰入金により当会計の収支バランスを保っておりますが、今年度は大幅に増額となります。受益者負担の公平性の観点にも照らし合わせて、昨年に引き続き国民健康

保険基金からも繰り入れることとしましたので、ご理解を賜りたいと存じます。

**直**

営診療施設勘定関係であります。

福祉の総合的な推進を軌道に乗せるためにも、町民からより一層信頼される診療所を目指すことを基本理念として関係者に奮起を期待するところです。

また、住民の皆さんに安心して医療を提供することと合わせ、経営改善を最重要課題として取り組んでいく所存であります。

**簡**

水道事業並びに公共下水道事業関係について、申し上げます。

簡易水道につきましては、平

成7年度より実施しています配水管整備事業が、平成16年度で約98パーセントの進捗となっております。今後2年間で残りの整備をしたいと考えています。

下水道につきましては、当初認可の99ヘクタールのうち97・7パーセントで供用を開始しています。初期の目標を達成しており、平成17年度からは管路新設事業を休止して、今後の財政状況を勘案しながら残りの部分を進めていきたいと考えています。

2月24日の臨時会で議決をいただきました料金改定につきまして、4月1日より実施させていただきます。

水道の安定供給、下水道の普及に一層努力して、安心で快適な生活環境を提供していきたい

と考えております。なにとぞ事情ご賢察の上ご理解賜りますようお願いいたします。

**次**

に、介護保険事業勘定関係について申し上げます。

保健センターを核として、福寿荘、ふれあいの郷さらには、地元NPO法人によるグループホームが完成し、運用が始まったところです。これで一連の福祉ゾーン計画における施設整備が完了したところです。

今後これら各施設の十分な活用とともに、在宅介護の充実を図ることで、平成18年度から実施が予想されています。制度改正を見据えつつ、介護給付の適正化を保ちながら、利用者の方々が安心できるようさらなる努力をして参りたいと存じます。

以上が、3月定例議会にあらためましての所信の一端であります。

**国**

の三位一体改革は、当町のような小規模な自治体ほど財政的な影響は大きく、現在策定中の「自立推進プラン」を指針として、今後町政を推進していきませんが、産業振興と生活基盤の確保には十分配慮していく考えであります。

議会並びに町民皆様の一層のご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。



# 平成17年度 教育行政執行方針

平成17年度の教育関係予算をご審議いただくに当たり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

## 教

育行政をとりまく情勢については、

昨年は義務教育費国庫負担制度が問題になりました。政府・与党は、18年度までの三位一体改革の合意の中で「義務教育制度についてはその根幹を維持し、国の責任を引き続き堅持する。」とし、その方針の下、費用負担の問題や教育水準の維持向上も含め義務教育の在り方について幅広く検討をすることといたしました。

そして、こうした問題については、平成17年秋までに中央教育審議会において結論を得るという状況になっております。

こうした教育改革の国の動向を踏まえながら、教育委員会といたしましては、恵まれた豊かな自然や地域の特性を生かした教育行政の推進に努めてまいります。

## 学

校教育について申し上げます。「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「信頼される学校づくりの推進」を重点として取り組んでまいりたいと思っております。

一点目の「確かな学力の向上」については、

子どもたちに基礎・基本をしっかり身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むことが最も重要な課題であります。

陸別小学校での毎日の「朝学習」や、陸別中学校での選択教科の中で苦手な教科を克服する「チャレンジタイム」は、基礎学力の定着を図るために大切な学習でありますので、継続しながら指導内容の充実を図ってまいります。

二点目の「豊かな心の育成」については、

相手を思いやる心、互いを認め合いともに生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する心、美しいものに感動する心など豊かな人間性や社会性を育むことが大切であります。そのため、子ども一人ひとり

が自分自身や未来を見つめ、人間として必要な道徳性を養うために、「道徳の時間」のさらなる充実を図り、併せて社会奉仕活動などを実践してまいります。

また、読書は子どもたちに豊かな感性や情操、そして思いやり、心を育む上で大切なことから、陸別小学校での全校一斉の朝読書を継続しながら充実を図ってまいります。

豊かな人間性や社会性を育成するためには、学校教育だけでなく、家庭、地域社会のそれぞれの教育活動を関連付けて、人間として生きていく上で必要とされる普遍的な価値を総合的に育てていくことが重要であります。

三点目の「信頼される学校づくりの推進」については、

教育は、子どもたちへの深い愛情と、学校、家庭地域相互の信頼のもとに、地域社会全体が子どもたちの成長を願ひ協力し合って行われることが大切であります。

そのためには、校長のリーダーシップのもと、教職員が一致協力して、保護者や地域住民か

らの強い信頼と協力を得ながら、教育活動に取り組んでいかなければなりません。

各学校では、学校だよりや地域開放参観日、ホームページの開設、保護者等へのアンケート調査を実施し、結果の分析及び公表を通して、その思いや願いに応える授業づくり、学校づくりを進めてきているところであります。

これからも、各学校の教育活動や学校運営の状況について保護者や地域の方々に対し、積極的に情報を提供しながら、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進してまいります。さらには、直接子どもたちの教育を担う教員の資質は、教育の成否を左



右するものでありますから、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の活用などを図りながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

## 次

に、特色ある教育活動といたしましては、昨年度に引き続き「小中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。

小学校と中学校が相互に連携を図り、教員同士が協力し合い、学びの連続性や学習内容のつながりについて、実践研究を行いながら、小中合同の研究会開催を目指して取り組みを進めてまいります。

陸別中学校では、小学校から引き続き入学される障害をもつ子どもたちの就学のために、特殊学級を開設いたします。

小学校でのきめ細かい教育実践を土台にして、さらに中学校での教育環境や指導内容を充実させ、普通学級との交流や各種行事への参加を促進しながら能力や適性を伸ばす指導を行ってまいります。

陸別中学校が今年度十勝管内放送教育研究大会の会場校となっておりまして、大会運営に協力してまいります。

# 次

に、社会教育について申し上げます。

今日の少子・高齢化の進行や、国際・情報化の進展の中、ライフスタイルの変化や価値観の多様化、さらに生活水準の向上や自由時間の増大により、生涯を通して健康で生きがいのある人生を過ごすことが求められています。

そのために、人生の各年代において健康で文化的な生活が営めるよう、住民ニーズを的確にとらえ、学習やスポーツ、文化に親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めてまいります。

# 陸

別町独自の子どもたちへの素晴らしい体験事業として実施をしている「中学生等海外研修派遣事業」と小学生を対象とした「冒険・体感inとうきょう派遣事業」は、子どもたちに貴重な経験や体験そして感動を与える事業であります。

今年度から教育委員会が、事業の実施主体となつて進めてまいります。

# 外

国青年招へい事業につきましては、昨年度で終了したところでありますが、近隣の人材応援をいただきながら、子どもたちへの国際理解教育や語学指導を実施してまいります。

# 次

に、文化の振興についてであります。

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらす、豊かな人生を送る上で、大きな力になるものであります。

このため、文化団体が行う自主的な文化活動への支援や、文化祭の開催など文化協会と連携を図りながら進めてまいります。

# 社

会教育指導員の設置についてであります。従来退職校長などを任命して実施してきたところでありますが、指導員の確保が難しい状況にあります。

そのため、地元での雇用と人材育成に努め、臨時社会教育指導員として雇用しながら、事業を実施してまいります。



# 公

民館施設の整備でありましたが、今年度は講堂で使用する放送用備品が老朽化のため、更新する予算を計上いたしました。今後、より一層利用の拡大と利用者の便宜を図ってまいります。

長い歴史の中で育まれてきた文化財は、歴史や文化をより理

# 次

に、文化財の整備についてであります。

文化財は、歴史や文化をより理



解するため大切なものであり、将来における文化発展の基礎をなすものであります。

また、アイヌの人たちが、古くから北国の風土に根ざして育んできた文化は、北海道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであります。

町内にあるアイヌの人々の碧跡であります史跡ユクエピラチヤシ跡の保存整備事業については、財政的に厳しい状況にある

ことから事業規模を縮小して実施してまいります。

また、活用方法についても、保存整備委員会の指導を受けながら、実施に向けて再検討をしてまいります。

今年度本町で十勝管内PTA研究大会が開催されますので、大会運営に協力してまいります。

# 次

に、スポーツの振興についてであります。

明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの振興は欠かすことができません。

町民一人ひとりが、日常生活の中で、積極的にスポーツ活動に親しみ、健康と体力の維持、増進を図っていくことが必要であります。

本町においても高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自



己管理意識が高まり、パークゴルフ、ミニバレー、ウォーキング等が普及し定着しています。

これからも体育指導委員や体育連盟・スポーツ少年団さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民一人ひとりが生涯にわたり、健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の有効活用や、スポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。

町民水泳プールの整備でありませんが、プールサイドの床マットが傷んでおりますので、全面張り替えの予算を計上いたしました。利用者の皆様に快適な環境の中で利用していただくよう努めてまいります。

また、体育施設の維持管理につきましては、自主管理の推進や開放日の見直しなどにより、管理経費の縮減に努めたところがあります。

以上、平成17年度の教育行政の主な施策について申し上げますが、これから学校、家庭、地域や各関係機関と連携を深めながら、職員一丸となつて本町の教育行政の推進に努力してまいりますので、今後とも町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

# 平成16年度 陸別町教育振興賞表彰

平成16年度陸別町教育振興賞表彰式が、3月20日タウンホールで行われました。文化奨励賞（一般部門）で高橋好子さんほか、個人の部46名、団体の部9団体42名が受賞しました。

（団体の個人名は敬称略）

## ★文化奨励賞（一般部門）

高橋好子さん（大通）  
第25回全十勝陶芸芽室展  
シルバーの部 金賞

## ★児童生徒文化奨励賞（生徒部門）

岡 由美子さん（下陸別）（中3）  
第47回十勝子ども大会 家庭科の部 特選

浅井知生さん（共栄第1）（中3）  
平成16年度 中学生の税についての作文  
十勝池田地区納税貯蓄組合連合会  
最優秀賞

山崎那月さん（新町2区）（中3）

第47回十勝子ども大会 家庭科の部 特選

我妻志織さん（下陸別）（中2）

第47回十勝子ども大会  
家庭科の部 中文連賞

佐藤初美さん（元町）（中2）

第47回十勝子ども大会 書道の部 特選

## ☆児童生徒文化努力賞（生徒部門）

中川真由子さん（新町2区）（中3）  
第47回十勝子ども大会 家庭科の部 入選



青木このみさん（新町2区）（中3）  
第47回十勝子ども大会  
デザインの部 入選

佐藤主毅さん（東1条2区）（中2）  
第47回十勝子ども大会 絵画の部 入選

原田麻衣子さん（作集）（中2）  
第9回全十勝小・中学校新聞スクラップ  
コンクール 優秀賞

菅野奈美さん（下斗満）（中2）  
第9回全十勝小・中学校新聞スクラップ  
コンクール 優良賞

菊地茉耶さん（大通）（中2）  
第47回十勝子ども大会 絵画の部 入選

浅井静乃さん（共栄第1）（中1）  
第47回十勝子ども大会 絵画の部 入選

東海林加奈さん（下陸別）（中1）

第32回中学生作文コンクール 入選

加賀谷えりなさん（共栄第2）（中1）

第32回中学生作文コンクール 入選

## ★児童生徒文化奨励賞（児童部門）

菊地勇希さん（下陸別）（小6）

第13回日専連全国児童版画コンクール  
日本版画協会賞

早坂梨央さん（新町2区）（小6）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

工藤史啓さん（北斗満）（小4）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

阿部芳治さん（新町2区）（小3）

第47回十勝子ども大会 書道の部 特選

細野 悟さん（共栄第1）（小3）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

田口詩織さん（東1条2区）（小3）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

桑内 慧さん（東1条2区）（小2）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

松浦愛香理さん（下敷祿別）（小2）

第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）



佐藤三冬さん（共栄第1）（小1）  
第47回十勝子ども大会 書写の部 特選

青柳菜奈さん（東1条2区）（小1）  
第36回全国学生書道展覧会 特別賞一席

阿部弘幸さん（新町2区）（小1）  
第15回北方領土返還意識高揚習字展  
択捉島賞（最優秀賞）

☆児童生徒文化努力賞（児童部門）  
野下紗鶴さん（新町1区）（小6）  
第47回十勝子ども大会 絵画の部 入選

大西啓史さん（元町）（小6）  
第47回十勝子ども大会 工作の部 入選

我妻沙織さん(下陸別)(小6)  
第47回十勝子ども大会 家庭科の部 入選

今村拓人さん(新町2区)(小6)  
第47回十勝子ども大会 工作の部 入選

瀧澤沙也華さん(新町2区)(小4)  
第15回北方領土返還意識高揚習字展

国後島賞(優秀賞)

久江詞音さん(新町2区)(小3)  
第15回北方領土返還意識高揚習字展

国後島賞(優秀賞)

鹿野まなみさん(栄町)(小3)  
第15回北方領土返還意識高揚習字展

国後島賞(優秀賞)

鎌上 芽さん(苦務)(小2)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 優秀作

高橋星悟さん(新町1区)(小2)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 優秀作

芳賀宏紀さん(元町)(小2)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 優秀作

大井那菜さん(新町2区)(小2)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 優秀作

久江沙羅さん(元町)(小2)  
第36回全国学生書道展覧会 特別賞

有田公香さん(共栄第1)(小2)  
第36回全国学生書道展覧会 特選

湯浅 遙さん(若葉町)(小1)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 優秀作

佐藤優衣さん(東1条2区)(小1)  
第35回記念全道書道コンクール

毛筆の部 特選

佐藤美咲さん(上斗満)(小1)  
第47回十勝子ども大会 工作の部 入選

陸別小学校5年

(井上智奈都、広瀬椋、三好美穂)

平成16年度全十勝小中学校学級学校新聞

コンクール

学級新聞部門高学年の部 佳作

☆スポーツ奨励賞(一般部門)

ミラクルフォー(千田真、浦島健造、松

本美紀子、大淵文子)

第12回ミニバレープレジデントカップ

上湧別大会 混成50歳以上の部 優勝

☆スポーツ努力賞(一般部門)

ハルウララ(平井久美子、織田清美、渡

辺優美子、山内和子)

第12回ミニバレープレジデントカップ

上湧別大会 女性40歳以上の部 第3位



☆ジュニアスポーツ努力賞 (児童部門)

丹野楓佳さん(若葉町)(小3)

第26回十勝地区空手道選手権大会

小学生3・4年女子 形の部 第3位

☆ジュニアスポーツ努力賞 (生徒部門)

陸別中学校サッカー部1年生

(猪狩大、佐々木涼太、高橋雄斗、谷優

太、正者瞭、谷内田直文、山内順宗)

第9回全十勝ユースフットサル選手権

中学1年の部 第3位

☆ジュニアスポーツ奨励賞 (児童部門)

高橋圭祐さん(新町1区)(小6)

第26回十勝地区空手道選手権大会

小学生5・6年男子 組手の部 優勝

加藤竜平さん(新町2区)(小2)

第26回十勝地区空手道選手権大会

小学生1・2年男子 形の部 優勝

三好智也さん(関)(小2)

第5回北海道小学生ABCバドミントン

大会 小学生C男子シングルス 準優勝

情報  
INFORMATION

## 北海道警察官の募集

北海道警察では次の日程（予定）で警察官の募集を行います

- 願書の受付期間  
平成17年4月5日（火）から  
平成17年4月22日（金）まで
- 試験日（第一次試験）  
平成17年5月29日（日）
- 試験場所  
帯広、釧路、北見など道内14会場
- 受験資格  
A区分のみ。【A区分】学校教育法による大学（短期大学を除く）等を卒業した者（平成18年3月卒業見込みを含む）  
※昭和50年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者
- 採用予定人員  
A区分～警察官（男性）別途通知します。  
警察官（女性）別途通知します。
- 採用予定日  
A区分～平成18年4月以降
- その他  
詳細につきましては警察署又は最寄りの交番・駐在所にお尋ね下さい。  
北海道警察ホームページ <http://www.police.pref.hokkaido.jp/>  
本別警察署（☎2-0110）

## 自衛隊一般幹部候補生を募集します

- ◇受付期間 平成17年4月4日（月）～5月13日（金）
- ◇応募資格 20才以上26才未満の者  
（22才未満の者は大卒（見込含））
- ◇試験期日 ・1次試験 平成17年5月21日（土）・22日（日）  
・2次試験 平成17年6月21日（火）  
～平成17年6月23日（木）  
のうち指定する1日
- ◇試験会場 帯広駐屯地（その他、各地方に受験会場有り）

※詳しくは、役場総務課 ☎7-2141 又は自衛隊帯広募  
集案内所（帯広市西5条南13丁目第2いせきビル2F）  
☎0155-23-8718  
<http://www.obihiro.plo.jda.go.jp>  
e-mail plo-tokachi@mb.megafit.net

## 陸別町広報紙「3月号」記事の訂正について

（平成17年3月4日）

◎議長、副議長、議員の各報酬額誤っていました。

- ◎訂正箇所 → 6ページ「町職員の給与」表7
- 議長 「291,000円」→「**286,000円**」に訂正
  - 副議長 「222,000円」→「**217,000円**」に訂正
  - 議員 「180,000円」→「**175,000円**」に訂正

◎訂正後の「表7」

区分	12月給料月額	1月給料月額	期末手当の支給割合
町長	800,000円	680,000円	年間2回に分けて 4.40ヶ月分
助役	660,000円	561,000円	
教育長	600,000円	510,000円	
議長	<b>286,000円</b> (291,000円)	<b>286,000円</b> (291,000円)	年間2回に分けて 3.85ヶ月分
副議長	<b>217,000円</b> (222,000円)	<b>217,000円</b> (222,000円)	
議員	<b>175,000円</b> (180,000円)	<b>175,000円</b> (180,000円)	

◎議員報酬については、平成16年1月1日より報酬額を引き下げています。

上記のように訂正して、お詫びいたします。

## お見舞いの皆様へ

～病気をもらわない、病気をうつさないために～

当診療所では、院内感染対策委員会を中心として医療行為によって病気が広がることがないように、様々な取り組みを行っております。  
その中でも、入院なさっている患者様には、別段の注意を払っております。

入院なさっている患者様の中には、体の抵抗力が弱り他の方から病気をうつされやすい状態の方が入院されている場合がございます。

お見舞いにきていただいた方自身が病気にかかったり、他の方に病気をうつすことがないように、ご配慮をお願いいたします。

- ・病室に入る時とお帰りの時は、病室の入り口に設置しております消毒剤で手や指を消毒してください。  
手や指に付着した病原菌を、「持ち込まない、持ち帰らない」ための処置となります。
- ・面会する時は、体調に気をつけてください。  
発熱・下痢・かぜ等の自覚症状のある方は、面会を控えてください。
- ・また、お子様連れで面会することは、極力控えてください。
- ・ご面会の方は、病室での飲食は、ご遠慮をお願いいたします。  
当診療所で飲食をなされる時は、デイルームにてお願いいたします。
- ・靴の汚れが目立つ時は、玄関にてスリッパに履き替えてください。

皆様にはお手数をおかけいたしますが、ご協力よろしくお願ひいたします。

陸別町国民健康保険関寛斎診療所  
所長 高橋邦康



水道・下水道利用者の皆様へ

# 4月から水道・下水道料金が改定になります

日頃、水道・下水道をご利用いただきありがとうございます。

さて、標記の水道・下水道料金につきましては、適切な財源を確保する上で、受益者負担の適正化などを考慮し、料金改定をさせていただくことになりました。

今後とも経費の節減や経営の合理化等を積極的に推進し、少しでも安いコストで供給できるよう努力してまいりますのでご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 水道料金表

- ・従来の水道料金の約10%の引き上げとなっておりますのでご理解願います。
- ・簡易水道（市街・トマム）、営農用水道（上陸別・トラリ）、専用水道（小利別）の全ての地区が対象となっております。

区 分	基本（1ヶ月につき）		超過料金 （1㎡につき）	備 考
	水 量	料 金		
一 般 用	8㎡まで	1,770円 (1,620円)	200円 (190円)	一般家庭用等で、他の区分以外のもの
営 業 用	10㎡まで	2,350円 (2,160円)	270円 (250円)	料理店、飲食店及び娯楽場等の営業の用に使用するもの
事 業 用	20㎡まで	2,940円 (2,700円)	60円 (55円)	農業及び酪農業等の事業の用に使用するもの
団 体 用	50㎡まで	4,900円 (4,500円)	110円 (95円)	社会福祉等の事業の用に使用するもの
浴場営業用	100㎡まで	7,930円 (7,560円)	80円 (70円)	一般の公衆浴場の用に使用するもの
臨 時 用	1㎡ごと	320円 (300円)	—	工事用その他臨時的に使用するもの

上段が改定後の金額。下段（ ）が従来の金額。 ※消費税相当額を含む料金です。

## 下水道料金表

- ・従来の下水道料金の約10%の引き上げとなっておりますのでご理解願います。

区 分	基本（1ヶ月につき）		超過料金 （1㎡につき）	備 考
	水 量	料 金		
一 般 用	8㎡まで	1,160円 (1,060円)	130円 (120円)	使用量は水道使用量と同じになります。
公衆浴場用	100㎡まで	5,500円 (5,000円)	50円 (45円)	

上段が改定後の金額。下段（ ）が従来の金額。 ※消費税相当額を含む料金です。

※4月請求分からの適用となります。

※お知らせ表も変更になりますので気をつけて見てください。

## お し ら せ

※水道の水質検査の結果を公表することになりました。

詳しくは役場で水道水質管理計画書を告示しますので、そちらをご覧ください。

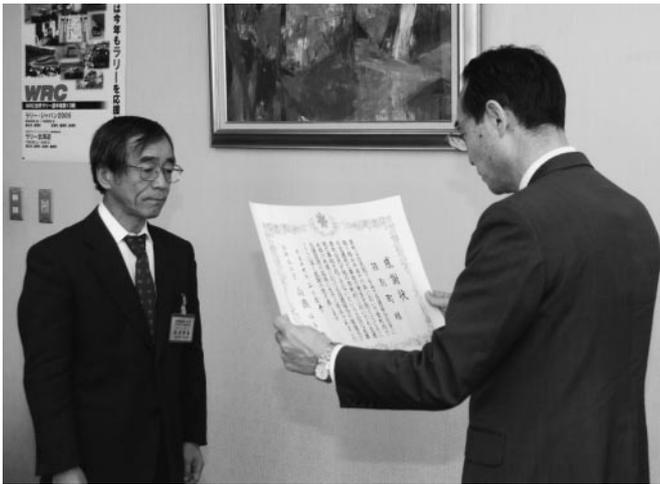
※下水道の利用についてお願いがあります。

最近トイレに流してはいけない紙類が下水道に入って来ています。

今一度、使用上の注意書をよく読んで御利用下さい。



お問い合わせは、陸別町役場 建設課 水道・下水道担当へ  
(☎7-2141 内線223番)



町内で交通事故死が起きていないのと町民が町外で交通事故死を起こしていないことから北海道知事より陸別町に感謝状が送られました



名古屋大学太陽地球環境研究所と国立環境研究所による陸別町での研究成果の発表会が行われました



陸別町自立推進プラン（原案）町民説明会が開かれました



ふるさと銀河線歩くスキーのつどいが日産自動車北海道陸別試験場で開催されました

陸別町商工会女性部より福寿荘、グループホームゆうの里にフラワーアレンジメントの寄贈がありました



3月15日 陸別町中学校の卒業式が行われました



陸別小学校の卒業式が行われました



陸別小学校6年生のみなさんが全員で1本の太巻きづくりに挑戦しました



建設業会2世会がボランティアで高齢者の方々の施設の除雪を行いました



札幌市で「走れ! ふるさと銀河線シンポジウム」が開催され、札幌陸別会のみなさんや陸別町から多数の参加者がありました



平成16年度林業講演会が開催されました



北見市でふるさと銀河線を考える北見集会2005が開催されました



陸別保育所で卒園式が行われ19人が卒園しました



陸別消防団が平成16年度消防庁長官表彰「竿頭綬」を受章しました。全国では34機関、道内で9機関が受章しています

# 史跡ユクエピラチヤシ跡

## 発掘調査

史跡ユクエピラチヤシ跡の発掘調査も平成16年度で完了しました。今月号では2ヶ年にわたる試掘調査と、3ヶ年にわたる発掘調査の成果をまとめてみたいと思います。

①遺物は全て合わせると12万点以上になりました。シカ骨や鉄器などのほかに楽器（トンコリ）の部品や中国の銭貨（洪武通宝・皇宋通宝）、装身具（ガラス玉等）が出土しています。

②遺跡全体を一六九四年に降灰した駒ヶ岳の火山灰が覆っているため、チャシの年代は17世紀末までとすることができません。

③B郭とC郭の中に柵列が巡っていたことが分かりました。柱の穴が並んで確認されたほか、溝も確認されました。建物跡等は今のところ見つかりません。

④最も驚かされた発見がA・B・C壕の外側に白とオレンジの火山灰で構成された盛土が確認されたことでした。この盛土の火山灰は、それぞれの壕を掘ったときに掘上げたものです。厚い所では1メートル近くも盛られており、壕から外側に10メートル以上の範囲に広がっています。白とオレンジの火山灰は薄く交互に盛られていて、チ

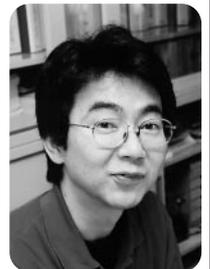
ヤシが完成した当時は周りが白い色で飾られた美しい景観であったと考えられます。

⑤この盛土は細かく調べていくと、上中下の3段階に区分することが出来ます。このことから、このチャシは何度か増改築されていることが分かりました。

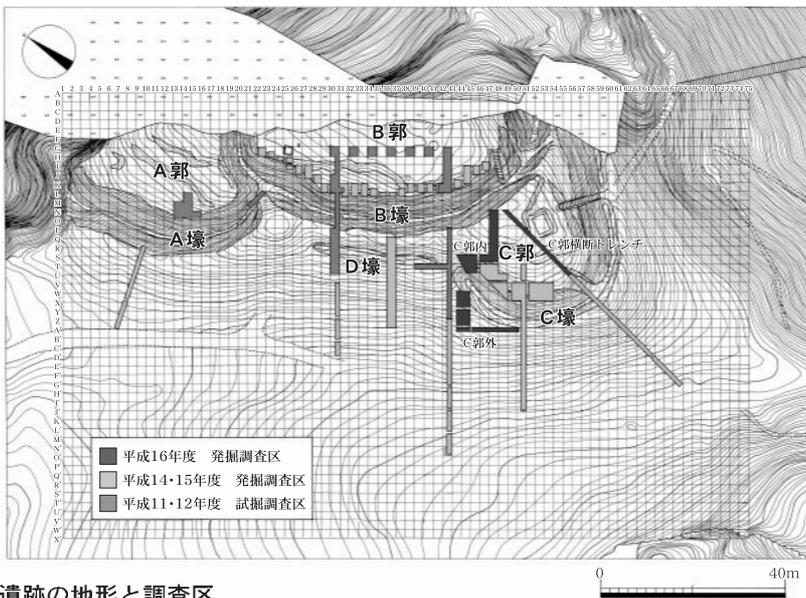
⑥盛土の観察から、B郭が最初に造られ、次にA郭・C郭が

造られたことが分かりました。ただし時間差は大きくなく、チャシ築造当初から3つの郭があったことが分かりました。

今回の調査によって、このチャシが予想を上回る大規模な遺跡であることが分かりました。今後、整理作業を進めて発掘調査の本報告書を作成する予定です。



教育委員会社会教育・社会体育担当 大鳥居 仁 主任



遺跡の地形と調査区

## 図書室だより

公民館 図書紹介

### ◆一般図書



◎黄金の門 平谷 美樹  
21世紀初頭——世界は混乱の中にあつた。宗教的な対立に未来への不安と危機感を人々が抱く中、ぼくは自らの命を危険のなかに置こうと平和ボケした日本を脱出し、エルサレムへとたどり着いた。

キリスト教・ユダヤ教・イスラム教の対立、パレスチナとイスラエルの紛争、激動の渦の中に身を投じたばかりの前にある日、現れたのはヨシユアと名乗る少年だった。彼は既存の宗教を超えた教義を説き人々の間に支持者を増やしているという。果たして彼こそがこの世界の「救世主」なのか？ それとも神を騙る詐欺師なのか……。

### ◆その他の新刊

狭山事件の真犯人：殿岡 駿星  
天国で君に逢えたら：飯島夏樹  
嫉妬深い彼女：ローラジャグマン  
檸檬のころ：豊島 ミホ  
はたらくママの必ず片づく魔法の4ステップ：デビー・ウィリアムズ  
問題な日本語：北原 保雄  
伊東家の食卓使える！裏ワザ大全集2005：日本テレビ  
プスの瞳に恋してる：鈴木おさむ  
茶々と信長：秋山 香乃

### ◆児童図書



◎三宅島のムサシ 井上こみち  
2000年8月、三宅島の雄山が噴火。だれもいなくなつた島で、1年間、生きぬいた犬・ムサシ。「みんな、どこに行っちゃったの？」自然災害が起こったとき、動物たちは……人間と動物のきずなを描いた感動のノンフィクション。

### ◆その他の新刊

命を食べるおじいちゃん：木暮正夫  
自由研究ガイドブック：左巻健男  
帰ってきて！愛犬ナナちゃん  
…反町 昭子  
まほうつかいのおぼけちゃん  
…中村 徹  
黒鍵は恋してる：赤川 次朗  
シャンプー王子ときたないことば：名木田 恵子  
名探偵ボワロとミス・マープルクリスマスの悲劇：アガサ・クリステイ  
ホットケーキいいん？  
…二宮 由紀子

## 第47回本別山溪つつじ祭り

- 5月9日(日)午前10時
- 義経の里本別公園
- 内容 熱気球体験試乗会(無料)、ちびっこゲーム大会、モデル撮影会、ひらひらキャッチ、各種芸能など
- お問い合わせ  
実行委員会事務局  
役場地域振興課商工労働観光担当  
電話☎2141内線225



# 本別から Honbetsu

## 本別町歴史民俗資料館からのお知らせ 「資料館友の会15年のあゆみ」展

歴史民俗資料館でボランティア活動が続ける「資料館友の会」が、結成15周年を迎えました。それを記念して、今までの活動のあゆみを発表します。本別町の開拓からの歴史、全国の博物館情報などが分かる展示となっていますので、ぜひご覧ください。

- と き 4月5日(月)から4月16日(金)まで
- と ころ 本別町歴史民俗資料館1階(図書館西側)
- 展示内容 ①会報「神居山」創刊号から68号、および掲載写真、行事写真集  
②発行誌「本別開拓人物誌録・斉藤栄山」ほか
- 問い合わせ 歴史民俗資料館(TEL2-2141内線410)まで

## 第19回ほんべつ公園クロス カントリー大会のお知らせ

屋外の陸上競技のシーズン開幕を告げる大会です。

4月17日(日)午前10時開会式

- 本別公園駐車場前芝生広場(集合場所)
- コース 本別公園園路に各コース設定
- 区 分 小学1年生-6年生 男子(2\*)  
同 女子(同)  
中学生 男子(3\*)  
中学生、高校生、一般女子(同)  
高校生男子、一般男子、壮年の部(5\*)
- 参加料 一般 1,500円  
小・中・高校生 500円
- 申し込み 4月8日(金)必着で  
〒089-3334 本別町北5丁目  
篠原順彦(まさひこ)携帯090-5986-9240へ

## 足寄動物化石博物館

2月、知床半島東側の羅臼町の海岸で、シャチの群れが流氷に閉じ込められているのが見つかりました。地元の人たちが救出活動にあたりましたが、一頭が沖に脱出した以外は、残念ながら死んでしまいました。

足寄動物化石博物館では、北海道の海にいるクジラの骨格6体を展示しており、以前からシャチの骨格を追加したいと考えていました。このことが国立科学博物館の動物研究室を中心とする調査チームや羅臼町からの理解が得られ、メス1体を骨格標本の資料として譲り受けることができました。

資料は火山灰に埋め、2~3年後に公開することになります。

### ☆施設案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合はその翌日)12月30日~1月6日は休館
- 展示室観望料  
一般 300円  
小学生、中学生、高校生、65歳以上 200円  
(20人以上団体割引あり)
- 詳細: 足寄動物化石博物館 TEL5-9101  
<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/>

# 足寄から Ashoro



# SPORTS TOPICS



## スポーツ



### 第19回冬季ミニバレー大会

平成17年2月21日、陸別町教育委員会主催による第19回冬季ミニバレー大会が陸別中学校体育館で開催されました。本大会には愛好者18チーム75名が参加し、13分1セットマッチでの試合を3チームごとの予選リーグ後、3つの決勝リーグ戦に分かれて熱戦が繰りひろげられました。なお、各賞に該当しなかったチームを対象に抽選で5チームにラッキー賞が授与されました。

◇成績結果

- 優勝 共栄第1  
(大井幸雄、瀬藤文典、小南桂子、佐々木亜以)
- 準優勝 若葉A
- 第3位 若葉C



## 銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月23日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL7-4040 FAX7-4041)

4月	コテージ予約状況	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	6人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△
	10人用	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ予約状況	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	6人用	△	△	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10人用	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 健康コーナー 81

☆体力づくりと仲間づくりの楽しさ  
 ～ステップアップ教室の実践より～



担当 保健福祉センター 保健師 徳尾友香

## ◇ステップアップ教室とは？

昨年行われた「けんこうアップ教室」の参加者を中心にした運動教室で、昨年の12月から約10名程度が集まって行っています。参加者が自主的にを行い、保健師は場所の確保や健康相談などのお手伝いをしています。



▲ステップ台

## ◇どんな効果やメリットがあるのか？

有酸素運動の効果があり、主に全身の持久力の向上と下肢筋力が高まる効果があります。単純ゆえに継続しやすいのも特徴です。

天候に左右されず、家でも自分の好きな時間にできます。

参加者の声では「普段はかくことのない汗なので気持ちいい」「集団で行うのが無理しないで自己調節ができる」「家で

行うのもいいが、みんなの顔を見てできるのがいい」という感想がありました。また、「長く体操を休むと辛くなる。継続が大事。」という声もありました。

## ◇参加者募集！

自宅でも実践できるようにステップ台を自費で購入していただきます。(まとめて保健センターで集約をします) 詳細は回覧でお知らせします。興味のある方や不安がある方はご相談に応じますので保健センター保健師までお問い合わせください。

【ステップアップ教室】

毎週木曜日 午後1時半から3時



▲ステップアップ教室

## ☆子どもの健診・予防接種カレンダーは届いていますか？

今年度もお間違いないように受けてください。  
 お手元がない場合は保健師までお問い合わせください。  
 (保健センター 電話7・8000)

## ☆保健活動アレコレ・・・

よく保健師ってどんなことをしているのかと聞かれることがあります。一言で伝えるのはなかなか難しいのですが、あえて言うならば『健康づくりのお手伝いをする人』ということになると思います。その対象は地域住民の皆さんであり、生まればかりの赤ちゃんから学生さん、働き盛りの人、高齢者など、地域で生活をしている人すべてが対象です。

健康づくりは、継続することや長年の生活習慣を変えることが難しく、効果もすぐに見えないことも多くあります。そのような健康づくりのお手伝いをしたり、身近な相談役になれるように努めていきますので、今年度もよろしくお願ひします。

## ☆体っておもしろい！

～ボディケアセラピストから学ぶ 教育委員会主催の自分発見講演会が「体を知ること自分を知ること」と題して、3月14日(月)、保健センターで行われ、30人が参加しました。

講師に、札幌市在住でボディケア・セラピストの小川弘晋さんを招き、日常的に感じる頭痛や目の疲れ、肩こりなどの緩和法や起こる原因について学びました。自分の体に興味を持つ良い機会になり、体にやさしくなるひとときを体験することができました。



ご相談ください



▲小川さんの講演に聞きいる参加者

# 町民文藝

## 陸別福寿草俳句会



孫の部屋音楽絶えぬ春休み  
ふじ江

出会いあり別離もありて春の風  
艶子

北国の子等も自転車春休み  
君代

仏縁に子等集い来し彼岸かな  
光江

剪定の梅の一枝を捨て切れず  
栄子

春日差し川面に碎け飛沫舞う  
いさを

春草や色もそれぞれ名をもてり  
和子

卒業の少年少し大人びて  
有子

健やかや苦き目刺を噛みしむる  
誠人

雪間草日当る所より青む  
文子

## 「ご厚意

」寄付ありがとうございます

### 陸別町へのご寄付

□陸別老人クラブ女性部からふるさと銀河線存続資金として8,550円が寄付されました。

□長屋 勝さん(帯広市)、品田美恵子さん(札幌市)、馬場松代さん(札幌市)、長屋ハヤさん(共栄第2)からふるさと銀河線存続資金として4万円が寄付されました。

□陸友会さんから陸別町福祉センター1階和室用として座布団20枚(3万円相当)が寄付されました。

□鎌上綾子さん(新町1区)からふるさと整備資金として10万円が寄付されました。

### 社会福祉協議会

#### ボランティアセンター

#### (愛情銀行)へのご寄付

□梅森茂利さん(新町2区)から社会福祉協議会に10万円が寄付されました。

□陸別町建設業協会 五月会会長 平木せい子さんから社会福祉協議会に3万円が寄付されました。

□陸別カラオケクラブ会長 早坂勝巳さんから社会福祉協議会に3万円が寄付されました。

## 町民のうごき

### うごきえ

女川太一さん 21歳 修さん 共栄第1

北川拓真さん 3歳 衛さん 緑町

三好佐歩さん 3歳 平さん 上斗満

### おくやみ

野上太子さん 65歳 37若葉町

近嶋貞夫さん 75歳 315共栄第1

大井ハナさん 93歳 318共栄第1

小岡 豊さん 88歳 319元町

鎌上正三さん 73歳 322新町1区

### 編集後記

4月に入り雪解けが進む毎日となりました。

表紙でもお知らせしましたが、ふるさと銀河線が存続の願いもむなしく、廃止されようとしています。沿線の街は鉄路と共に発展してきた歴史があります。会社取締役会での廃止決定は残念でなりません。取締役の中で唯一廃止に反対したのが、金澤町長でした。今

後、株主総会を経て正式な廃止決定となります。2年前に高橋知事が陸別から足寄まで銀河線に乗りましました。そのときから沿線住民で、存続の願いをしてきましたが、その声は、伝わっていませんでした。本当に残念です。

5月から広報担当が代わります。3年間お世話になりました。来月号から新しいスタッフで頑張りますので、引き続きよろしくお願ひします。

町の人口・世帯数 17.2.28

人口	3,121人(-4)
男	1,548人(-2)
女	1,573人(-2)
世帯数	1,451戸(-1)

友好町民の会 **441**人(前月比0人)

ホームページアドレス <http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>  
携帯電話用ホームページ <http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp//>